



## 利用者様の歩行補助具は適切ですか???

新年を迎えて早一ヶ月が経とうとしております。

皆様、今年も一年宜しくお願い致します！！

今回のテーマは「**歩行補助具の選定**」です。既存の利用者様、紹介して頂く利用者様の多くが使用されている歩行補助具。適切でしょうか？

今回は歩行補助具選定の「**理学療法士の考え方**」について簡単にお話したいと思います。



## 知ってほしい！！

高齢者の方の中では「歩けなくなったらおしまい」といわれる方や、「歩くことができるようにリハビリがしたい」という方も多くいらっしゃいます。

しかし転倒リスクを考えると「歩けるようになるまでは危険だから車いすにしましょう。」というように転倒を予防するために「行動抑制」をするという考え方が多いのではないのでしょうか？

危険になってきた歩行を

「**どのような時に**」

「**どのような場所で**」

「**どのような身体状態に対して**」

「**どのような補助具を用いて**」

支援をしていくのかという点を評価することが理学療法士の専門分野です。



## 歩行補助具を使用する流れ

- ①怪我や病気により歩行機能が低下したのち、徐々に歩行機能を獲得するため。
- ②老化により歩行機能が低下したため。

### 理学療法士の考え方

現在の移動方法および**身体機能**を把握します。  
現在の移動方法が**安全かつ実用的**であるかどうかを評価し歩行補助具を選定しています。



## T字杖の2つの役割

- ①免荷  
杖に体重をかけると**反対側**の足への荷重が少なくなります。対象者は**疼痛**がある方や、**筋力低下**がある方に使用します。
- ②バランス  
バランスを安定させるため**支持面積**を広くします。



足を閉じてる場合



杖をついている場合